

つなぐ つながる ささえあう

# 7<sup>th</sup>



th

ANNIVERSARY

## 北区社会福祉協議会 創立70周年 記念誌



つなぐ つながる ささえあう



北社協キャラクター  
アイちゃん



70th Anniversary  
北区社会福祉協議会  
70周年記念誌

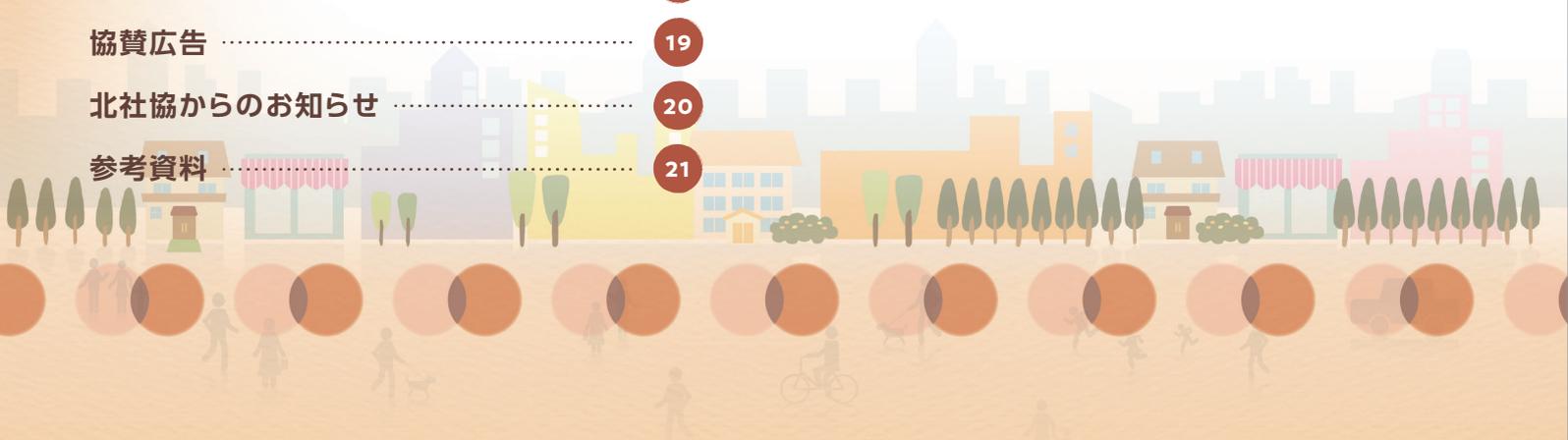
つなぐ つながる ささえあう



北社協70周年

目次

会長あいさつ・祝辞	1
北社協の新たな取り組み	2
事業紹介	
・ 管理係	4
・ 地域福祉係	6
・ 権利擁護センター「あんしん北」	10
・ 生活困窮者自立支援係	12
北社協70年のあゆみ	14
アイちゃんの部屋	18
協賛広告	19
北社協からのお知らせ	20
参考資料	21



## 会長あいさつ

北区社会福祉協議会創立70周年にあたり、日頃より当協議会に対し、格別のご理解とご協力を賜りました皆様に、深く感謝申し上げます。

昭和28年8月創立以来、当協議会は時世に則した福祉事業を展開してまいりました。特にこの10年は第4次の地域福祉活動計画を策定し、生活困窮者自立支援部門を設立、「ぶらっとほーむ」の運営や生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーの配置など地域福祉を推進するための事業を地域の皆様の協力のもと、実施してまいりました。また近年激甚化している災害に備え、いわき市・前橋市社会福祉協議会や東京青年会議所と協定を締結し、災害時における体制強化を図りました。さらに子ども・若者の健やかな成長のため「子ども・若者応援基金」を設立し、チャレンジの機会となる事業を展開しております。

直近においては新型コロナウイルス感染症の発生という未曾有の事態を受け、人と人が対面することが制限されました。そうした中でも「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域福祉の推進に努めて来たところです。

社会情勢が大きく変貌する中で、複合化・複雑化した課題を抱える世帯に対する支援など既存の制度では対応が困難となっています。こうした課題に対しても、当協議会は一丸となって解決に向けて取り組む所存です。

末筆となりましたが、当協議会をご支援いただいている北区長をはじめとした行政諸機関、北区議会、北区民生委員・児童委員協議会等関係各位の変わらぬご協力を心よりお願い申し上げます。北区社会福祉協議会創立70周年のご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人  
北区社会福祉協議会

会長 **水越 乙彦**

## 祝辞

北区社会福祉協議会が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。貴協議会におかれましては、昭和28年8月の創立以来、地域福祉の向上にご尽力を賜り、関係者の多年にわたるご苦勞に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

近年、社会状況やライフスタイルの変化、新型コロナウイルス感染症による影響等により、人と人がふれ合う機会が減少し、地域住民同士のつながりや支え合いの精神の希薄化とともに、社会的孤立を原因とした生活困窮、ヤングケアラー、8050問題など地域が抱える課題が多様化かつ複雑化するとともに複合化しています。

北区では、「みんなで創る。北区新時代」を基本姿勢として「誰かひとりではなく、みんなが豊かさを感じることができるあたたかな北区」の実現に向けて全力で取り組んでいるところです。こうした中で、地域が抱える複雑で多様な福祉課題への対応は北区にとって喫緊の課題であり、より豊かな区民生活のため、貴協議会をはじめ様々な団体等と一層連携を密にして取り組みを進めてまいりたいと考えています。

貴協議会におかれましては、これまでの活動で培った経験と人脈、コーディネート力を活かし、地域の社会資源をつなぎ、引き続き地域福祉推進のネットワークの中核としての積極的な活動にご期待申し上げます。

結びに、貴協議会の益々のご発展と、関係各位のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



北区長

**やまだ 加奈子**

# 北社協の新たな取り組み

2013 - 2023



## 北区くらしとしごと相談センターの開設

2015(平成27)年3月

生活困窮者自立支援法に基づき、平成27年3月に開設されました。(北区からの受託)  
自立に向けた生活相談、家計の見直しに関する相談などを行っています。



## 成年後見制度に係る中核機関の設置

2018(平成30)年4月

専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会の事務局など、地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核機関として、権利擁護センター「あんしん北」が位置づけられました。



## 第4次北区地域福祉活動計画策定

2019(令和元)年9月

令和元年度(2019年度)から令和5年度(2023年度)までの5カ年を期間とする計画で、地域住民、ボランティア、民生・児童委員、福祉関係団体、企業などが「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域のよりよい暮らしに向けた取り組みの方向性を示した、地域住民が主体的かつ自発的に地域福祉の推進をしていくための活動・行動計画です。



## 子ども・若者応援基金の設立

2021(令和3)年4月

地域のみなさまによる「子ども・若者たちの未来を応援したい」という熱い思いから、立ち上がりました。育ちを支える“経験・体験”を応援するために個人助成や団体活動支援、人材育成などに活用しています。

## 地区担当制の導入

2015(平成27)年4月

地域との顔が見える関係を作ることで地域の福祉課題を把握し、各種活動につなげる役割を果たすため、北区を3つのエリアに分け、職員が担当地区を持ち活動を始めました。

## 介護予防拠点施設 ぷらっとほーむ 桐ヶ丘・滝野川東開設

2018(平成30)年4月

高齢者のみなさまが、住み慣れたまちで元気に自立した生活が送れるように、仲間づくり、健康づくり、いきがづくりを応援する介護予防拠点施設が誕生しました。(北区からの指定管理)

2013  
平成25年

2014

2015

2016

2018

2019

2021

2023  
令和5年

## サロン縁じょい開設

2014(平成26)年10月

地域に広がる「知り合い」の場  
北社協では、みなさまの協力を得ながら、地域住民の孤立や閉じこもりの防止などを目的に、地域の誰もが気軽に立ち寄れるサロンを開設しています。  
先駆けとして、平成24年に区内3か所(桐ヶ丘・滝野川東・豊島)に開設され、平成26年10月から「サロン縁じょい田端駅通り商店街(愛称:谷田橋サロン)」が開設されました。



## コミュニティソーシャルワーカーの設置

2015(平成27)年4月

地域のみなさまといっしょに、困りごとについて一緒に考え、動き、解決するために東十条・神谷地区に先行してモデル設置されました。  
その後、平成30年4月に桐ヶ丘地区、令和5年4月に田端・中里地区にも設置されました。

## 子ども担当の設置

2016(平成28)年4月

平成28年より子どもの貧困・孤立防止対策ネットワーク事業を開始しました。  
学習支援や子ども食堂、居場所づくりといった子どもたちの支援を行う方々や団体のつながりを強化しています。

## 新型コロナ特例貸付の実施

令和2年3月から令和4年9月にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で減収した方を対象に生活福祉資金の特例貸付が行われました。申請者が全国的に急増し、「200年分の申請が1年で寄せられる」と表現されました。北区は外国籍の方も多く申請に訪れたため、「やさしい日本語による説明会」を開催するなどして、申請受付を行いました。



やさしい日本語による説明会

## 被災地での災害ボランティアセンターの運営支援

社協の全国的なネットワークを生かし、北社協ではこれまで災害時に現地の災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、現地の社協活動などの運営支援を行ってきました。



千葉県・銀南町社協(職員派遣)



岡山県・倉敷市社協(車両貸出)



福島県・いわき市社協(職員派遣)

# 管理係

## 管理係のおもな業務

- 法人運営 理事会・評議員会、事業計画・予算、事業報告・決算、会員事業、寄付の受付、人事、給与、庶務全般など
- 北区内法人との連携 福祉人材確保支援事業、北区社会福祉法人部会など
- 広報啓発
- 募金活動

広報紙「きたふくし」の発行、ホームページの運営など  
赤い羽根共同募金、歳末たすけあい・地域福祉募金など

### 管理係 募金活動

北区内の募金活動のうち「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい・地域福祉募金」の事務局を担っています。集まった募金は、主に北区内の地域福祉活動や福祉施設の運営補助に使われています。



JR田端駅での街頭募金



JR王子駅での街頭募金



JR赤羽駅での街頭募金



JR十条駅での街頭募金

赤い羽根共同募金は「北区の福祉」に活用されています。お寄せいただいた募金は、区内の福祉施設や団体を支援するために役立てられています。



キッズタウン東十条保育園  
人形劇の実施



クラブ保育園  
大型三輪車の購入

「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい・地域福祉募金」は、地域の方が呼びかけ、地域の方から集められます。町会・自治会などの担当の方々が一軒一軒、声をかけてまわりますので募金を集める作業は大変なことです。多くの方々からご協力をいただくことができます。

これからも北区の福祉が充実したものであってほしいと思っております。どうか地域社会全体の福祉向上のため、みなさまのご協力をお願い申し上げます。



東京都共同募金会  
北地区協会の会長  
鈴木将雄氏



### 福祉のしごとと総合フェア



### 管理係 福祉人材確保事業 (北区受託事業)

「福祉のしごとと総合フェア」の開催

「福祉のしごとと総合フェア」は、北区内の福祉施設・事業所で働ける求人を集めた相談・面接会を開催しています。

「福祉人材研修」の開催

北区内の福祉施設・事業所における福祉人材の定着を支援するために、業務力向上を目的とした「福祉人材研修」を行っています。

### 管理係 寄付の受付

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の実現のために、年間を通して、地域のみならずからの金銭や物品のご寄付を受けています。金銭の寄付だけでなく年間約160件もの寄付があります。



東京ガス株式会社様



株式会社なとり様



ボランティアグループこだま様

# 地域福祉係

## 地域福祉係のおもな業務

- 地域福祉・ボランティア担当 CSWの配置、小地域福祉活動の展開・推  
進、地域ささえあい活動など地域福祉  
ボランティア活動の推進、第1層生活支援
- 子ども担当 子どもの学習・生活支援事業、子ども食堂等ネットワーク構築  
及び子どもの見守り強化事業、ひとり親世帯応援事業など

進、地域ささえあい活動など地域福祉  
コーディネーター活動など

### 在宅福祉サービス担当

友愛ホームサービス事業、視覚障害者ガイドヘルパー  
派遣事業、車イス貸出事業、紙おむつ支給事業など

### ぶらっとほーむ

区からの受託で高齢者の介護予防施設の運営や活躍の場づくりなど



### 地域福祉係

神谷・東十条地区/桐ヶ丘地区/田端・中里地区の3地区に配置(令和5年度時点)

## コミュニティ ソーシャルワーカー (CSW)

地域には孤立による課題や既存の制度やサービスだけでは解決が困難な福祉課題があります。それらの課題の把握や解決にむけ、関係団体と連携しながら対応し、地域で支える仕組みづくりを進めるため、北社協では平成27年より、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置しています。



## 町会・自治会からの コメント

CSWが地域福祉活動を推進していくためには、町会・自治会のご協力が欠かせません。令和5年4月から田端・中里地区にCSWが新しく配置され、田端宮元自治会周辺の歴史や地域情報を伺わせていただきました。今後、町会・自治会の方とも密に連携しながら田端・中里地区の地域福祉活動の推進に取り組んでいきます。



田端宮元自治会 吉田会長ご夫婦

70周年おめでとうございます。この4月から田端・中里エリアに新しくCSWが配置されました。みんなに知ってもらい気楽に相談できる存在をめざしてくださいね。田端エリアの活性化のためにもこれから、どうぞよろしくお願いたします。



## 社会福祉法人からの コメント

神谷・東十条地区ではCSWがパイプ役となり分野・セクターを超えて連携を深めています。社会福祉法人さざんかの会が運営している知的障害者のグループホーム「ファミーレらら」の会場を活用し東洋大学の学生の協力のもと、民生児童委員が中心となり住民主体の地域の居場所「ラララかみや」の活動を継続して行っています。



地域住民 × 入居者で  
クリスマスの準備



地域住民 × 学生で  
さくら体操

社会福祉法人としてCSWが配置されてからいろいろな場面で連携してきました。地域活動の拠点、地域の社会資源のひとつとして活躍する場ができて得るものも多くあると考えています。今後もたくさん連携していきましょう!!



社会福祉法人さざんかの会  
ファミーレらら  
管理者 布施真紀氏



### 地域福祉係

## 地域ささえあい活動

北社協では地域に住んでいるみなさまでお互いに励まし合い、支えあって、地域を元気にしていく活動を「地域ささえあい活動」と呼んでおり、活動を推奨している「地域ささえあい活動団体」を応援しています。地域ささえあい活動団体は子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に活動されており、北区内に約160団体あります。

区内の高齢者施設や保育園、公園などさまざまな場所で絵本の読み聞かせ活動をしています。絵本を通して多世代交流ができるだけでなく、地域から活動のオファーを受けることは、私たちのやりがいや生きがいにもなっています。絵本を読む方も聞く方もお互いにハッピーになります!



地域ささえあい活動団体『りぷりんと北・すまいる北』  
代表 齋藤幸男氏  
(しもぞうハウスにて)

地域ささえあい活動団体  
『りぷりんと北・すまいる北』

### 地域福祉係

## 介護予防拠点施設 ぶらっとほーむ 桐ヶ丘・滝野川東

(北区からの  
指定管理)

高齢者のみなさまが、住み慣れたまちで元気に自立した生活が送れるように、仲間づくり・健康づくり・いきがいつくりを応援する施設です。桐ヶ丘と滝野川東の2か所で運営しています。

介護予防教室、ふれあいサロンの運営、そのほか体操などを行うグループ活動の支援や通所型サービスなどを行います。



自主グループ 東クイリングの会さん



ペーパークイリング作品



週1回ペーパークイリングで作品作りを楽しむ東クイリングの会さん。完成した作品はぶらっとほーむ滝野川東の壁に飾らせていただいています。四季を彩り、来所された方の心の癒しにも。「ぶらっとほーむのおかげで、いくつになっても新しいことにチャレンジできる。今が一番楽しいです」とお話をいただきました。これからも地域のさまざまな活動を応援していきます!

地域福祉係

## 子ども担当

区内の子ども支援活動団体や地域の方々と連携し、さまざまな支援活動を進めています。

子ども食堂のネットワークの支援や、小学生対象の学習支援活動、職業体験イベント、ひとり親応援事業、子ども・若者の「チャレンジしたい!」を応援する子ども若者応援基金などに取り組んでいます。



### 職業体験

子どもたちの未来を思い描くきっかけづくり



医学生による  
医師体験



### 子ども・若者 応援基金

基金を原資に子ども・若者の育ちをささえる「経験・体験」を応援する活動へ活用



団体活動助成を活用した  
プロのエンジニアがボランティアで  
教えるプログラミング講座



個人チャレンジ助成を活用した  
フェンシングのチャレンジ  
Johoku Athletes club  
久良知選手 向江選手  
チャレンジ中のお子さま

## 小学生対象学習支援

(北区受託事業)

学びの機会の提供として地域のボランティアが尽力



地域の子どもたちの居場所づくりを行うために、社協と地域住民の方々とが協力し合い、現在の形にまで広げることができました。今後もてこLa寺(学習)・てこらcafé(見守り)をよろしくをお願いします。

区内で最初に学習支援教室を立ち上げた「てこLa寺(てこらてら)」のみなさま

## 北区子ども食堂 ネットワーク

都内でも屈指の食堂数を誇る北区の子ども食堂活動



お菓子の寄付  
(パチンコDAS東十条店様より)



食堂ネットワーク会議



創立70周年、おめでとうございます。貴協議会との「つながり」は2021年の「子ども・若者応援基金」を「ささえる」活動用のデザイン協力から始まります。今後この「つながり」を継続できれば幸いです。

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構  
ヒューマンライフ支援センター  
所長 大西淳之氏

地域福祉係

## 友愛ホームサービス

地域の高齢者や障がいのある方などが、自立した在宅生活を続けるために、地域住民がサポートスタッフとなり「ささえあい」の気持ちで必要な支援を行う有償の在宅福祉サービスです。



いつも利用者さんから「ありがとう」と感謝していただき、やりがいがあります。利用者さんからいろいろなお話を聞かせていただき、自分自身にとっても素晴らしい経験となっています。



サポートスタッフ 河合みわ子氏 利用会員 竹石しづ子氏

河合さんに来てもらえていのおかげで生活ができています。いつも楽しみに来てくれることを待っています。1週間が待ち遠しいです。

### ご利用案内

(基本料金)  
年会費:1,500円  
利用料:1時間900円  
20分毎に300円ずつ加算  
※一部減免制度あり

### (支援内容)

家事援助・外出付き添い・通院付き添い  
入退院支援など

※地域住民による支援のため対応できない内容もあります。詳しくはお問合せください。



地域福祉係

## 視覚障がい者 ガイドヘルパーの 派遣事業

目の不自由な方にガイドヘルパーを派遣する事業です。買い物や通院だけでなく、趣味や余暇活動にも同行し、そのサポートを行っています。

※現在新規の利用者の募集は行っていません。



活動の様子



ガイドヘルパーさんは私の興味をかなえてくれる「目の代わり」です。スポーツの好きな私はブラインドゴルフのプレイ介助や水泳大会で飛び込み台に立って用意する手伝いもお願いしています。



水泳大会に参加された伊藤道夫氏と  
ガイドヘルパー 竹井君江氏



# 権利擁護センター「あんしん北」

権利擁護センター「あんしん北」

## 権利擁護のネットワークづくり

成年後見制度の中核機関として、成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる権利擁護支援のネットワークづくりを推進しています。



権利擁護センター「あんしん北」

## 成年後見制度の利用支援

成年後見制度の中核機関として、制度に関する以下の相談や支援を行っています。

- ① 申立て書類に関する支援
- ② 後見人候補者の紹介(専門職団体からの紹介)
- ③ 後見人等就任後の支援



司法書士 原田圭介氏

リーガルサポート北・荒川地区の司法書士は、区民の権利を守るために、あんしん北と連携しています。  
後見人候補者を推薦する会議に参加して、法律事務の専門家として、意見を述べています。  
支援を必要とする方が、成年後見制度を利用できるよう、共に取り組んでいます。



成年後見制度利用促進会議の様子



「チーム」既存の支援体制に後見人等が参加し日常的に本人を見守り必要な対応をする

## 権利擁護センター「あんしん北」のおもな業務

高齢者や障がいのある方などを対象に、福祉サービスの利用や金銭管理、成年後見制度に関するご相談などをお受けします。

- 総合相談/専門相談
- 成年後見制度の利用支援
- 福祉サービスの苦情対応相談
- 地域福祉権利擁護事業

権利擁護センター「あんしん北」

## 地域福祉権利擁護事業 (福祉サービス利用のお手伝い)

病気や障がいなどで、お一人で判断することが難しい高齢者や障がいのある方を対象に、「生活支援員」と「専門員」が定期的に訪問し、支援を行います。

ご利用案内

(基本料金) 1回1時間まで 1,500円  
以下30分毎に600円ずつ加算  
※援助のために必要な通帳や印鑑の預かりを希望する場合は3,000円

(書類などの預かりサービス) 1ヶ月 1,000円

わたしたち「生活支援員」と「専門員」がお手伝いします!



郵便物や手続きが必要なものを見てもらって助かっています。

利用者の方が住み慣れた地域(家)で安心して生活できるよう、思いや出来事に丁寧に寄り添い「信頼関係」を築きながら行っていきたくと思っています。



生活支援員 吉武理加子氏



生活支援員 兼城圭子氏

支援では、地域住民としての素人目線も必要と思っています。寄り添って話を聞き、できる事を考えることを意識しています。お話の中では寂しさを滲ませることもありますが、少しでも笑顔になっていただけるよう心がけています。



# 生活困窮者自立支援係

生活困窮者自立支援係

## 北区くらしとごと相談センター（北区受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、さまざまな事情でお困りごとのある方のご相談をお聞きしています。関係機関と連携し、ご本人に寄り添いながら支援します。



フードドライブ

地域住民の方々や企業からご寄付いただいた食品は、家計についてのご相談をお受けしながら必要に応じて、生活にお困りの方へ、お渡ししています。

“生活に困っている” “仕事が見つからない”  
“家賃を払えない” “家族のことで悩んでいる”  
“将来が不安” “どこに相談してよいかわからない”  
などの困りごとをどのようにしていくのがいいか、  
一緒に考えます。

一人で悩まずにご相談ください



北社協さんとはもう10年以上のお付き合いです。カタチだけで終わらず実際に動いてくれる北社協さんがとても頼もしいです。これからも私たちはひきこもり支援の立場からご協力させていただきます。ともががんばっていきましょう。

NPO法人栄の会リーラ  
理事長 市川乙允氏



社協さんにはこれまでも生活にお困りの居住者の方々へのご支援でお世話になりました。私も生活支援アドバイザーとして、これからも居住者の方々が安心して住めるよう取り組んでいきます。

UR都市機構業務受託者  
株式会社URコミュニティ  
生活支援アドバイザー 友枝悦子氏



地域の方の作品  
(アイちゃんアプリケ)

## 生活困窮者自立支援係のおもな業務

自立	支援担当	北区くらしとごと相談センター(自立相談支援事業・家計改善支援事業・住居確保給付金の申請受付)など
福祉	資金担当	生活福祉資金、受験生チャレンジ支援貸付事業貸付金などの貸付・償還相談

生活困窮者自立支援係

## 生活福祉資金貸付制度

資金の用途に応じ、「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」などの資金があります。

この制度の特徴は、資金の貸付、民生委員・社協の生活支援が両輪となって、借受世帯の自立と安定に向けて支援を行うことにあります。

## インタビュー

担当ケースの多くが教育支援資金の貸付です。私は、本人との面談時に、「卒業し、働き始めたら本人が返済する」ことを丁寧に説明しています。若い人の将来の夢を聞くのは楽しく、私もやりがいを感じています。この事業は、単なるお金の貸付ではなく、子どもの未来の夢につながる希望の橋渡しの事業です。

赤羽北地区民生委員児童委員協議会 会長 中島清氏



教育支援資金の貸付を受けることで、あきらめていた進学をかなえることが出来たという話を耳にし、支援の重要性を感じています。また、滞りなく返済できているという話を聞き、仕事にも意欲的に取り組んでいることがわかり嬉しく思います。これからも1人でも多くの方の進学の後押しになればと思っています。

豊島・堀船地区民生委員児童委員協議会 副会長 橋本清美氏



3か月に1回、生活福祉資金の借受世帯に「償還残額のお知らせ」をお届けしています。地域の方と接する中で、生活にお困りの様子などをお見受けすることもあります。今後、民生委員活動をもっと広報し、北社協と連携しながらさまざまな福祉課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

滝野川地区民生委員児童委員協議会 荒木寛信氏



## 「受験生チャレンジ支援貸付事業」(北区受託事業) もあります

東京都北区にお住まいで、一定の条件を満たす世帯の学習塾等受講料、高校・大学等受験料の貸付を行う制度です。対象の学校に入学後、所定の手続きを行うことにより、返済が免除されます。





# 北社協 70年のあゆみ

昭和編

終戦から8年が経過した昭和28年8月20日——北社協は「任意団体」として発会し、昭和39年1月に社会福祉法人として認可されました。今年、北社協は創立70周年を迎えます。



## 生活福祉資金は北区の民生委員が提唱



社協が行う「世帯更生資金(今の生活福祉資金)貸付制度」は、昭和30年11月に創設されました。

当時、社会保障制度として生活保護制度はありましたが、昭和27年8月に滋賀県大津市で行われた全国民生委員大会で「生活にお困りの方の生活を支え、自立を図る制度が必要」と訴え、生活保護制度とは別に制度創設のキッカケを作ったのが東京都北区で民生委員をされていた齋藤 元さんと言われています。

その頃は家内工業も多くあり、集団就職などで北区に住むようになった多くの若者が相談に来所され、社協と民生委員が車の両輪のように連携して、その時代背景にあわせた貸付を行って来ました。

(出典:北区社会福祉協議会創立50周年記念誌)



戦後復興期、民生委員を中心に「生活に困っている人々を地域で助け合おう」という声を持ち上がり、北社協の創立が後押しされました。

創立当初は、各家庭から持ち寄られたものを活用しながら、生活にお困りの方へ、歳末のもち代や衣類などの支給といった、地域のみなさまのご協力による慈善運動的な色彩が強い事業を行って来ました。

昭和31年には海外からの引揚者に対する見舞金支給、蚊帳のない世帯への蚊取り線香の配布なども行い、北社協と福祉事務所の仕事が混然一体のようになっていました。



発会式の様子



もち代支給の様子

### HISTORY ①

## 創立期の北社協

昭和28年 (1953)

8月 任意団体として発会  
12月 越冬のための衣類など支給

昭和30年 (1955)

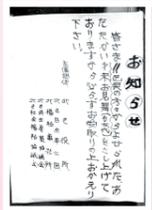
11月 世帯更生資金貸付制度開始 (東京都社会福祉協議会より受託)

昭和31年 (1956)

8月 蚊帳のない世帯を対象に蚊取り線香を配布  
11月 災害見舞金支給開始

昭和39年 (1964)

1月 社会福祉法人認可  
8月 広報紙「北福祉」第1号発行



もち代支給のお知らせ



北福祉第5号

昭和41年 (1966)

9月 地域福祉会議 城北ブロック協議会開催  
4月 福祉活動専門員設置  
5月 東社協委託事業だったたすけあい資金事業を自主事業に切り換える

昭和43年 (1968)

昭和44年 (1969)

11月 北区役所別館へ事務所移転

昭和46年 (1971)

4月 「北区老人いこいの家」運営を区より受託  
9月 「飛鳥山老人いこいの家」運営を区より受託

昭和48年 (1973)

8月 「北谷端福祉館」運営を区より受託  
「稲付福祉館」運営を区より受託  
「志茂老人いこいの家」に相談室開設  
「島下福祉館」運営を区より受託

昭和49年 (1974)

7月 「老人いこいの家利用者用送迎バス」運営を区より受託

昭和53年 (1978)

4月 「桐ヶ丘福祉館」運営を区より受託  
10月 「赤羽福祉館」運営を区より受託

昭和54年 (1979)

4月 身体障害者通所訓練施設「北区社会福祉館」運営を区より受託  
7月 国民年金特例納付のための世帯更生資金貸付実施

昭和55年 (1980)

4月 「堀船福祉館」運営を区より受託  
5月 「名主の滝老人いこいの家」運営を区より受託

昭和57年 (1982)

2月 北区ボランティアコーナー開設  
4月 「北区結婚相談所」運営を区より受託  
10月 創立30周年記念行事実施(北区公会堂) 市区町村社協法制化施行

昭和58年 (1983)

5月 ボランティアコーナーお知らせ発行

昭和60年 (1985)

4月 紙おむつ支給事業開始

昭和61年 (1986)

7月 友愛ホームサービス事業開始

昭和63年 (1988)

第一回 福祉機器展開催 10月

## 友愛ホームサービスは昭和61年7月に発足!



ご高齢の方や障がいのある方などが、自立した在宅生活を続けるために、地域住民の方々が「ささえあい」の気持ちで、家事や外出などのお手伝いを行う有償の在宅福祉サービスです。



友愛ホームサービス発足式様子



昭和57年2月22日開設



オープン時の様子



ボランティアコーナーのお知らせ (創刊号)

## レクリエーションや各種調査も

昭和40年代の北社協は、「母と子の夏期レクリエーション」や関係団体との共催による交流会などを多く実施していました。

ほかにも、「大地震に関する防災意識調査」や「子どもの遊び場づくり運動実態調査」など、福祉の増進に向けたさまざまな調査も行っていました。



レクリエーションの様子(昭和47年2月26日)

### HISTORY ②

## 施設運営受託の時代

昭和39年に社会福祉事業を行う団体として社会福祉法人の認可を得てからの北社協が行う事業は大きく変わりました。

高度経済成長で豊かな社会になりつつあった時代——北区も独自の地域福祉サービスを行うようになりました。当時の北社協は、区内に設置された「北区老人いこいの家」(3館運営)や「福祉館」(後のふれあい館、7館運営)などの施設や、「北区結婚相談所」の運営を北区から受託していました。

昭和57年には、「北区ボランティアコーナー」が開設されました。ボランティアをする側・求める側・コーディネーターもみなさま手探りしながらのスタートではありましたが、「ボランティア活動の先駆け」としてその役割を担っていました。



福祉館送迎バス「きぼう号」(通所の様子)

※平成8年に北区社会福祉事業団の発足に伴い、老人いこいの家、福祉館などは北社協から事業移管しています。

※北区ボランティアコーナーは、平成15年に北区NPO・ボランティアぶらざへ改組し、区の指定管理施設として北区市民活動推進機構へ事業移行しています。





# 北社協 70年のあゆみ

平成～令和編

## HISTORY ③ 在宅福祉の時代

昭和60年代、高齢者人口の増加が強く意識され、当時の福祉施策も“在宅福祉の取り組み”が強調されていました。

北社協も独自に「友愛ホームサービス事業」を開始し、その協力会員の中から地域福祉活動を担うボランティアグループが生まれました。また、この頃にはデイホーム（現：ぶらっとほーむ）が開設され、福祉機器展の開催、ハンディキャップ貸出事業もはじまり、社協本来の役割である“地域福祉”を推し進める事業への基礎がつけられていきました。



「北区バリアフリーガイド」制作（北区より受託）  
ガイドヘルパー派遣事業（支援費事業）開始  
権利擁護センター「あんしん北」開設  
毒塚三太夫氏による記念講演会を実施



創立50周年記念式典 民生委員コーラスの様子



権利擁護センター「あんしん北」開設



社協大会の様子（平成20年3月）

平成14年（2002） 4月 北区ボランティアセンターが「ボランティア・市民活動センターきた」へ名称変更  
地域福祉活動助成事業を開始



デイホーム桐ヶ丘開所式の様子

平成13年（2001） 7月 デイホーム桐ヶ丘移転

平成12年（2000） 4月 デイホーム滝東が北区受託施設「高齢者デイホーム」となる  
9月 三宅島災害に伴う北区避難者への支援事業実施

平成11年（1999） 10月 地域福祉権利擁護事業開始（福祉サービス利用支援事業）

平成10年（1998） 7月 財産管理・保全サービス事業開始  
10月 地域ささえあい活動事業助成金交付開始

平成9年（1997） 8月 デイホーム滝東開設（滝野川東高齢者在宅サービスセンター）

平成8年（1996） 3月 北区地域福祉活動計画策定  
5月 ボランティアルームたばた開設

平成7年（1995） 1月 阪神淡路大震災支援活動（職員派遣、募金活動）  
3月 第一回 おちやのご祭祭開催  
4月 きたふくし第50号発行

平成5年（1993） 11月 創立40周年記念行事「元気にネットフェスタ」開催

平成4年（1992） 9月 北区ボランティアセンター開設10周年記念行事開催（ボランティアコーナー開設より起算）

平成2年（1990） 5月 デイホーム桐ヶ丘開所  
北区ボランティアセンター開設

平成元年（1989） 6月 夏期体験ボランティア事業開始  
9月 ハンディキャップ貸出事業開始

平成17年（2005） 4月 各種助成制度を統合し、歳末たすけあい募金助成事業として一本化

平成16年（2004） 12月 三宅島被災者の避難命令解除に伴う支援金を支給

平成15年（2003） 10月 地域福祉活動助成事業を開始

平成14年（2002） 9月 地域福祉活動助成事業を開始

平成13年（2001） 7月 デイホーム桐ヶ丘移転

平成12年（2000） 4月 デイホーム滝東が北区受託施設「高齢者デイホーム」となる

平成11年（1999） 10月 地域福祉権利擁護事業開始

平成10年（1998） 7月 財産管理・保全サービス事業開始

平成9年（1997） 8月 デイホーム滝東開設

平成8年（1996） 3月 北区地域福祉活動計画策定

平成7年（1995） 1月 阪神淡路大震災支援活動

平成6年（1994） 3月 第一回 おちやのご祭祭開催

平成5年（1993） 11月 創立40周年記念行事

平成4年（1992） 9月 北区ボランティアセンター開設

平成3年（1991） 5月 デイホーム桐ヶ丘開所

平成2年（1990） 6月 夏期体験ボランティア事業開始

平成元年（1989） 9月 ハンディキャップ貸出事業開始

平成18年（2006） 3月 第2次北社協地域福祉活動計画、北社協発展強化計画策定

平成19年（2007） 4月 旧東京北都労政会館跡地に事務局移転

平成20年（2008） 3月 社協大会開催

平成21年（2009） 4月 自動販売機設置事業開始

平成22年（2010） 1月 社協大会開催

平成23年（2011） 3月 東日本震災発生

平成24年（2012） 1月 おべんとご一緒サービス開始

平成25年（2013） 4月 要介護認定調査事業開始

平成26年（2014） 3月 第3次北社協地域福祉活動計画策定

平成27年（2015） 2月 いわき市（福島県）・前橋市（群馬県）・北区（東京都）の3社協で、災害時等相互協力協定締結

平成28年（2016） 1月 福祉のまちづくり賞授賞式の開催

平成29年（2017） 4月 生活支援コーディネーター（第1層）を北区より受託

平成30年（2018） 8月 西日本豪雨災害発生

平成31年（2019） 8月 北区子ども・若者応援ネットワークの設立

令和元年（2019） 8月 きたふくし100号発行

令和2年（2020） 3月 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金の特例貸付事業の実施

令和3年（2021） 4月 子ども・若者応援基金（愛称：アイちゃん子ども・若者応援基金）設立

令和4年（2022） 4月 子ども・若者応援基金助成事業開始

令和5年（2023） 4月 CSWを田端・中里地区に配置

令和5年（2023） 6月 こどもまんなかサポーターに就任

令和5年（2023） 8月 創立70周年を迎える

令和5年（2023） 9月 台風13号災害発生

令和5年（2023） 11月 創立70周年記念式典・が〜まるちよば氏による公演会開催

## HISTORY ④ 地域共生社会の時代

未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症の流行は、経済活動や人々の交流などに大きな制約をもたらした。北社協はWithコロナ社会において、これまでの活動のあり方を転換し、新しい生活様式を取り入れた地域活動を支援するとともに、地域共生社会の実現に向けた協働ネットワークの中核として、福祉のまちづくりをこれからも推進していきます。

平成31年（2019） 8月 北区子ども・若者応援ネットワークの設立  
9月 きたふくし150号発行  
第4次北社協地域福祉活動計画策定  
令和元年（2019） 8月 きたふくし100号発行  
4月 自動販売機設置事業開始  
車イスステーション事業開始  
児童福祉事業「KIDSアートプログラム」実施

平成30年（2018） 3月 成年後見制度中核機関の設置  
「介護予防拠点施設ぶらっとほーむ 桐ヶ丘・滝野川東」運営開始  
CSWを桐ヶ丘地区に配置（2地区目）  
子ども食堂ネットワーク構築支援事業を開始（北区より受託）  
志茂地域に小地域活動拠点「しもぞうハウス」を設置  
西日本豪雨災害発生  
岡山県・倉敷市社協へ車両貸出

平成29年（2017） 4月 生活支援コーディネーター（第1層）を北区より受託  
6月 子ども食堂ネットワーク設立、事務局を担う  
7月 地域福祉活動計画等推進委員会拡大勉強会にて、厚労省地域福祉専門官・後藤真一郎氏の講演会を実施  
10月 ちよこつとささえあいサービスを開始  
11月 職業体験イベント（キャリア学習）開始

平成28年（2016） 1月 福祉のまちづくり賞授賞式の開催  
4月 生活困窮者自立支援事業「子どもの学習支援事業」を開始（北区より受託）  
子どもの貧困・孤立防止対策ネットワーク事業を開始  
5月 熊本地震発生 特例貸付業務支援のため熊本県・大津町社協へ職員1名を派遣  
6月 区内の2法人とともに桐ヶ丘サロン「あかしや」を設置・運営  
社会福祉法人部会の設置  
8月 台風10号豪雨災害発生 岩手県・宮古市社協に職員4名を派遣

平成27年（2015） 2月 いわき市（福島県）・前橋市（群馬県）・北区（東京都）の3社協で、災害時等相互協力協定締結  
3月 生活困窮者自立支援事業「北区くらしとこと相談センター」を北区より受託  
4月 職員の地区担当制を導入  
コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を東十条・神谷地区に配置  
9月 関東・東北豪雨災害発生 栃木県日光市三依地区に職員派遣  
茨城県常総市での災害支援孤立防止プログラムへ職員派遣

平成26年（2014） 3月 第3次北社協地域福祉活動計画策定  
10月 サロン緑じよい田端駅通り商店街（谷田橋サロン）開設

平成25年（2013） 4月 要介護認定調査事業開始（北区より受託）  
5月 「アイちゃん」が北社協公式キャラクターに決定  
8月 北社協60周年行事「ひろみちお兄さん歌って体操ファミリーステージ」開催  
9月 城北ブロック「災害ボランティアセンターの相互協力に関する協定」締結  
10月 創立60周年記念式典・講演・祝賀会開催  
医師・鎌田貴氏による記念講演会、テール歌手・大澤一彰氏によるミニコンサートを実施  
大島土砂災害発生 大島町社協に職員派遣

平成24年（2012） 1月 おべんとご一緒サービス開始

平成23年（2011） 3月 東日本震災発生  
福島県・相馬市社協及びいわき市社協に職員派遣  
4月 生活安定応援窓口の閉鎖に伴い、受験生チャレンジ貸付事業を事務局にて実施

平成22年（2010） 1月 社協大会開催  
タレント・島田洋七氏の講演会実施  
2月 地域ささえあい講座「老い支度講座」開催  
3月 緊急雇用対策事業で「北区バリアフリーガイド」発行（北区より受託）  
「北区地域ささえあい活動Map（平成22年3月版）」発行

平成21年（2009） 4月 自動販売機設置事業開始  
車イスステーション事業開始  
児童福祉事業「KIDSアートプログラム」実施

平成20年（2008） 3月 社協大会開催  
リーガル☆スター（司法書士の劇団）による「ボケても好きな人」上演  
4月 福祉人材確保支援事業（福祉のしごと総合フェア）  
福祉人材研修開始（北区より受託）  
8月 赤羽に生活安定応援窓口開設。  
就職チャレンジ支援事業、チャレンジ支援貸付事業（現受験生チャレンジ支援貸付事業）等実施

平成19年（2007） 4月 旧東京北都労政会館跡地に事務局移転

平成18年（2006） 3月 第2次北社協地域福祉活動計画、北社協発展強化計画策定

平成17年（2005） 4月 各種助成制度を統合し、歳末たすけあい募金助成事業として一本化

平成16年（2004） 12月 三宅島被災者の避難命令解除に伴う支援金を支給

平成15年（2003） 10月 地域福祉活動助成事業を開始

平成14年（2002） 9月 地域福祉活動助成事業を開始

平成13年（2001） 7月 デイホーム桐ヶ丘移転

平成12年（2000） 4月 デイホーム滝東が北区受託施設「高齢者デイホーム」となる

平成11年（1999） 10月 地域福祉権利擁護事業開始（福祉サービス利用支援事業）

平成10年（1998） 7月 財産管理・保全サービス事業開始

平成9年（1997） 8月 デイホーム滝東開設（滝野川東高齢者在宅サービスセンター）

平成8年（1996） 3月 北区地域福祉活動計画策定

平成7年（1995） 1月 阪神淡路大震災支援活動（職員派遣、募金活動）

平成6年（1994） 3月 第一回 おちやのご祭祭開催

平成5年（1993） 11月 創立40周年記念行事「元気にネットフェスタ」開催

平成4年（1992） 9月 北区ボランティアセンター開設10周年記念行事開催（ボランティアコーナー開設より起算）

平成2年（1990） 5月 デイホーム桐ヶ丘開所  
北区

AI CHAN'S ROOM  
アイちゃんの部屋



自己紹介!!

北区が大好き! いつもいろんな所遊びに行っているんだ。  
お祭りもイベントもみんなで遊べるから楽しいし、学校の人々と「ふくし」のお勉強をすることもあるんだよ。



メッセージ!!

いつもアイちゃんと北社協のことを応援してくれてありがとう!

北社協は「誰もが住みやすいまちづくり」を目指して頑張っているんだって。アイちゃんも一緒に頑張るよ! これからもよろしくね。



名前の由来!!

北社協のモットーである「ささえあい、たすけあい」の「あい」からきてるんだよ。



おしえて! アイちゃんHP

みんなに福祉(ふくし)のことをわかりやすくお伝えするよ!

アイちゃんのこれまでの活動



小・中学校での福祉学習の参加



地域のイベントなどで寄付付き商品販売のお手伝い



北社協のお仕事紹介

アイちゃんのお友達



びーのん  
©豊中市  
社会福祉協議会



しごさわくん  
©東京北区観光協会



ミンジー  
©東京都民生委員  
児童委員連合会



チャレニャン  
©東京都  
社会福祉協議会





# ご協賛企業・団体様

## ご協賛いただきありがとうございました!

創立70周年にあたり、企業・団体様からご協賛をいただきました。誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。



**城北信用金庫**  
Johoku Shinkin

自宅で楽器演奏を満喫できる賃貸住宅



**音楽マンション®**



**越野建設株式会社**  
(越野建設グループ)  
KOSHINO CORPORATION

地域密着・顧客支援を第一に



**瀧野川信用金庫**

たみんは北区の子どもたち・若者たちの将来の夢や希望がかなうように応援しています。



**社会福祉法人 光照園**  
**王子光照苑**

**社会保険労務士法人総合経営サービス  
障害年金申請サポートセンター**

無料相談会・勉強会も実施中!



TEL03-3912-4437



**Rotary** 

Club of Tokyo Oji

挑みつづける、変わらぬ意志で。



**東京商工会議所 北支部**

**北区社会福祉士会**  
『地域をつなぎ、ともに進む、  
未来への架け橋に』

**東京都北歯科医師会**

**アネス株式会社**

**鍼灸マッサージ院やまき**



## 会員募集のお知らせ

1日3円からできる地域貢献始めませんか？※1

北社協では、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のパートナー(=会員)を募集しています。

### 年会費

個人会員 1口 500円～

### 団体会員・ 賛助会員

1口 1,000円～

※できるだけ2口以上をお願いします。

### 財源の使い道

子ども支援事業等の  
地域福祉事業全般で  
活用

### 入会方法

- ① 申込書の記入と提出※2
- ② 支払方法:北社協事務局またはお住まいの地区の  
民生委員へ(銀行振込も可)

※1 年会費1,000円を想定し「1,000円÷365日=3円」として計算しています。 ※2 申込書は当会ホームページまたは巻末の連絡先までお問い合わせください。

## ご寄付のお願い

北社協は地域に暮らすみなさま、民生委員・児童委員、福祉施設をはじめとした社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加とご協力のもと、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」をめざし、さまざまな事業・活動を行っている民間の福祉団体です。みなさまからいただく会費や寄付金は北社協の独自事業・先駆的事业を柔軟に行ううえで貴重な活動財源となっています。

### ご寄付の種類：「一般のご寄付」と「指定ご寄付」について

#### 一般のご寄付

北区の地域福祉を支える事業へ活用させていただきます。

#### 指定ご寄付

ご指定の事業へ活用させていただきます。

※当会へのご寄付は所得控除・税額控除の対象になります。

## 「子ども・若者応援基金」を応援してください!

子ども・若者の「経験・体験」に注目し、地域の大人たちとの交流機会を持ち、豊かな人間形成の機会や、新たな出会い、チャレンジの機会となる事業を展開することで、子ども・若者の育ちをささえる地域づくりをすすめる基金です。ぜひ、活動の応援をよろしくお願いいたします。

### 具体的な基金の内容

#### ① 子ども・若者のチャレンジを直接応援する(個人チャレンジ助成)

子ども・若者のチャレンジを応援するために、経験・体験を広げるための費用の助成を行います。

#### ② 経験・体験をささえる、取り組みを応援する(活動団体助成)

子ども食堂や子ども・若者へのプログラム提供を行う団体に対して、活動費助成を行います。

#### ③ 子ども・若者をささえる人、活動者を増やす(人材育成)

子ども・若者に寄り添い、育ちを支える支援者の養成、福祉や教育など子どもたちに関わる仕事をめざす未来の支援者を育成するインターンシップなどに取り組みます。

#### ④ 子ども・若者支援活動や応援を継続させる(支援の拡大を継続)

支援継続に必要な広報・啓発活動を行い、地域に支援の輪を広げます。本基金を活用した事業の運営に必要な経費、基金の仕組みを支える事務事業費としても活用し、支援事業の安定的な継続を図ります。



### ご支援いただける方

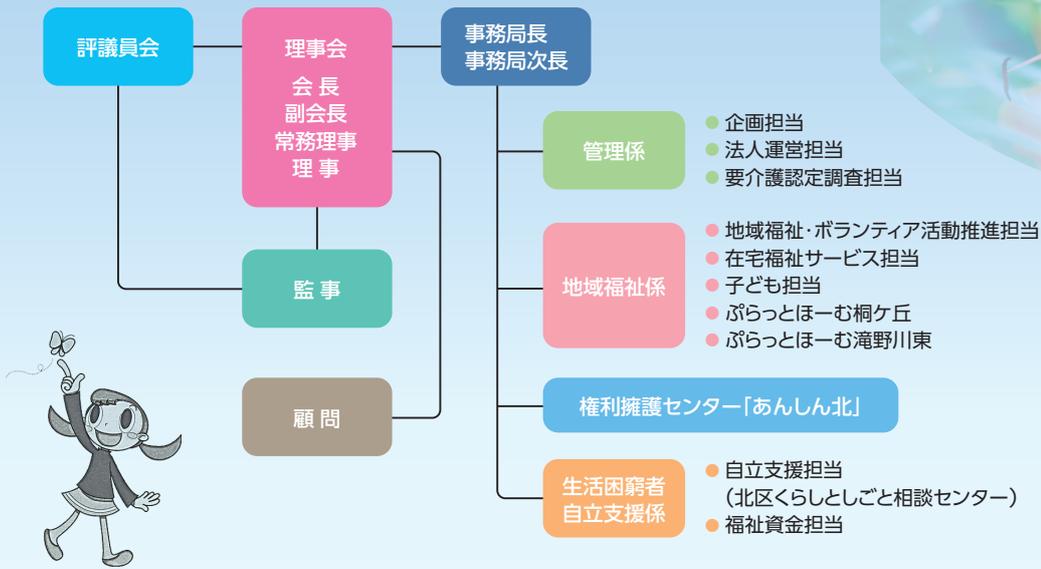
1回のみのご支援の他、毎月1,000円、2,000円、5,000円などクレジットカードから定期的にご支援いただく事もできます。

【銀行名】城北信用金庫王子営業部 【口座番号】(普通)0048364

【名義】社会福祉法人 北区社会福祉協議会  
(シャカイフクシホウジン キタクシャカイフクシキョウギカイ)

【お問合せ】 北区社会福祉協議会 ☎03-3906-2352

# 社会福祉法人北区社会福祉協議会 組織図



## 社会福祉法人北区社会福祉協議会・役員一覧 (敬称略、令和5年11月1日現在)

### 理事(創立70周年事業実行委員)

役職名	氏名	選出区分
会長	水越 乙彦	地域福祉推進に識見を有する者
副会長	田中 義正	北区民生委員・児童委員協議会
	越野 充博	商工団体関係者
常務理事	銭場 多喜夫	北区社会福祉協議会
理事	岩脇 彰信	北区民生委員・児童委員協議会
	大貫 新一	北区町会自治会連合会
	鈴木 将雄	北区赤十字奉仕団
	鈴木 文子	社会福祉事業を営む者
	市川 乙允	地域ささえあい活動団体の代表
	増田 幹生	保健医療関係団体
	中村 恵子	地域福祉推進に識見を有する者
小林 良二	学識経験者	

### 評議員

氏名	選出区分	氏名	選出区分
佐藤 伸一	北区民生委員・児童委員協議会	山野 汐美	地域ささえあい活動団体
岡戸 秀雄		須賀田 元彦	保健医療関係団体
河奈 正道		淵脇 泰夫	北区立小学校・中学校校長会
鈴木 文子		井口 尚明	学校福祉教育関係者
中島 清		福田 洋平	当事者団体
山村 利則		下田 加代子	地域団体、職能団体等からの推薦
小野澤 哲男	木野 直之		
加藤 和宣	澤田 雅夫		
長谷川 清	副田 義隆		
鈴木 康之	駒村 守晴		
尾花 秀雄	笠原 花織		
中山 斉	井上 ふみ子		
伊藤 元司	福祉事業を営む団体	浦井 智子	

### 監事

氏名	選出区分
荒川 正代	社会福祉事業に識見を有する者
大竹 雅訓	財務管理について識見を有する者

### 顧問

氏名	選出区分
峰田 将	元北区社会福祉協議会副会長
荒木 正信	前北区社会福祉協議会会長

## 社会福祉法人 北区社会福祉協議会 創立70周年事業担当プロジェクトチーム(北社協職員)

丸山真慶 上田文子 小原宗一 飯野加代子 田中雅子 末永淳也 宮嶋貴道 大澤朋子  
 田村佳奈子 菅野彩子 野呂尚暉 安藤豊 渡辺茂子 佐藤彩香 高田歩美 横山萌

## 社会福祉法人 北区社会福祉協議会 記念誌制作協力者 (順不同、敬称略)

谷本詩織 (ドット絵)  
 SERDIUK OLHA (風景画)  
 前田奈緒子 (アップリケ)  
 植木由美 (風景写真)  
 馬上栄子 (ぬりえ・イラスト)



北区社会福祉協議会



# 創立70周年記念誌

発行

社会福祉法人 北区社会福祉協議会

〒114-0021 北区岸町1-6-17  
TEL: 03-3906-2352 FAX: 03-3905-4653

制作協力：株式会社 萌翔社

発行日：令和5年11月1日



北社協HP

